

## 指定管理者評価シート

事業名	公園管理費	所管課(電話番号)	西区土木部維持管理課(667-3201)
-----	-------	-----------	----------------------

### I 基本情報

1 施設の概要			
名称	①農試公園 ②発寒西陵公園	所在地	①西区八軒4条西6丁目、5条西6・8丁目 ②西区発寒16条1丁目
開設時期	①昭和50年2月28日 ②昭和63年3月31日	面積	①123,912m <sup>2</sup> ②42,225m <sup>2</sup>
目的	都市公園の健全な利用に資するため良好な管理を行い、もって公共の福祉の増進に資すること。		
事業概要	農試公園、発寒西陵公園の維持管理及び運営(維持管理、運営管理、市民協働・参加、地域・団体との連携等に関する業務)		
主要施設	①屋内広場(ツインキャップ)、多目的広場、交通コーナー、トンカチ広場、遊戯広場、遊水池、野球場、庭球場 ②少年野球場、庭球場、ゲートボール場		
2 指定管理者			
名称	公益財団法人札幌市公園緑化協会		
指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日		
募集方法	公募 非公募の場合、その理由:		
指定単位	施設数:2公園 複数施設を一括指定の場合、その理由:両公園は維持管理全般(植物管理、施設管理、清掃、保守、修繕など)でほぼ共通しておりスケールメリットを活かした経費節減が可能であるため、一括指定としたものである。		
業務の範囲	公園維持管理業務、有料公園施設(屋内広場、野球場、庭球場)運営(利用料金制度)、自主事業を含む管理運営		
3 評価単位	施設数:2公園 複数施設を一括評価の場合、その理由:管理施設はいずれも公園で、同一の管理事務所を基地として管理しており、個別に評価する必要がないため。		

## II 令和5年度管理業務等の検証

項目	実施状況	指定管理者の自己評価	所管局の評価
1 業務の要求水準達成度			
(1)統括管理業務	<p>▽ 管理運営に係る基本方針の策定 当協会の理念と運営方針を基に、農試公園・発寒西陵公園の管理運営の基本方針を策定した。</p> <p>【当協会の理念】 札幌市民との相互信頼を基に、みどりを通して心豊かなまちづくりの実現と、みどり豊かな札幌の次代への継承に貢献すること</p> <p>【当協会における公園の管理運営方針】 指定管理者として公園の価値を高め、満足度向上につなげること</p> <p>【農試公園・発寒西陵公園の管理運営の基本方針】            ①平等・公平な利用の機会を確保し、公共の福祉増進の場としての利用効果を高める。            ②関係法令・条例等を遵守し、公園利用者や市民の声の反映とその発信に努め、開かれた管理運営による安全で安心、快適な利用環境を提供する。            ③資源・施設の長寿命化を念頭に置き、効率的な管理運営による経費削減を図り、安定した質の高いサービスを提供する。            ④多くの子どもたちが安全に元気よく遊ぶことができるよう、楽しく活力のある遊びプログラムを提供して公園の価値を高め、利用促進を図る。            ⑤子どもから高齢者まで気軽に参加できる体験型園芸講習会を開催し、利用促進を図る。            ⑥高齢者が健康増進のために気軽に参加できるノルディックウォーキング、歩くスキーなどのスポーツプログラムを提供し、利用促進を図る。         </p>	基本方針を策定し、企画立案・受付・利用指導・調整・維持管理など具体的な業務の中で日々確実に実行するよう努めた。その結果、コンプライアンスの徹底、平等利用の確保、効率化と質の高いサービスの両立、世代を問わない幅広い層を対象とした利用促進事業を実施することができた。	A B C D ・方針どおり実施されていた。

## ▽ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績

平等利用に係る方針を策定し、確実に実施した。

### 【平等利用に係る方針と取組】

- ・年齢や障がいの程度、性別、主義・主張、思想・信条、民族や言語、社会的地位や立場の違い等によって、公園の平等利用が妨げられないよう、また、利用者に不公平感を抱かせることのないよう、徹底したスタッフ教育による管理運営を行った。
- ・平等利用の前提である個人情報管理の徹底と事務の適正化に努め、透明性の高い公平・公正な管理運営を行った。また、公の施設の管理者として、個人情報など人権を尊重した管理に努めた。
- ・平等利用確保のため、差別や不正を生み出さない組織づくりと、そのために求められる最適な人材を配置した。また、全スタッフが人権尊重と平等・公平の理念について研修を通じて学んだ。特に全スタッフの雇用開始時に接遇研修を実施したほか、苦情・要望・提案等の申し立てによって差別が生じないよう、スタッフ教育の徹底に努めた。
- ・いつでもだれでも安全かつ快適に公園を利用できるように配慮した施設管理と利用者サービスを提供するとともに、管理レベルの均質保持に努め、日時や利用形態などによって利便性が損なわれないように留意した。
- ・屋内広場に車椅子を計3台、管理事務所にベビーカー2台を配置した。また、特に障がい者の利用機会の確保に努めた。
- ・火気の使用や占有利用などの違法・不法行為に対する迅速な対応とともに、公園内の犬の散歩時のマナーについて日常的な巡回と指導を行った。
- ・公園に関する情報を常にスタッフ間で共有するとともに、掲示板やホームページにより、必要な情報をリアルタイムで提供・発信した。
- ・実施するイベントやプログラムの情報、開花情報、施設利用情報など、利用者のニーズに的確に応えるべく偏りのない情報発信と対応に努めた。
- ・有料施設の減免基準について、関係する全スタッフが確実に学び、理解を深めて、全市で統一された取扱いを正確に共有・運用した。
- ・団体利用届等に基づいて管理作業のスケジュールを調整するとともに、利用者が過度に集中しないよう、利用日時の調整を図った。
- ・公園管理者側の一時的な事情により、利用者が公園利用の機会を逃すことのないよう、きめ細かい情報発信を行った。
- ・参加者が限られるイベント等は不公平感をもたれないよう努め、人気のある講習会については早めの開催告知に努めるなどして参加者を決定した。
- ・利用プログラム実施の際は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、換気や手洗いなど基本的な感染予防を行い予定者全員が参加できるように努めた。
- ・不当要求と思われる事案に対しても原則どおり毅然と対応するなど、平等利用の徹底を図った。

・適正に利用されていた。

・1年を通して確実に平等利用の確保を徹底することができた。また、スタッフや関係者はもちろん、一般の利用者や利害関係者が公園を利用する際の優遇や便宜供与、疑惑を持たれるような行為の発生はなかった。

・お客様の意見・要望などは、可能な限り受け止め、真摯に対応することができた。

・管理全般において、コンプライアンスの徹底と平等利用の確保に努め、適正な利用環境を提供することができた。

・改修工事の進捗情報などをHPなどで適宜公開し利用者の要望に応えた。

#### ▽ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進

- ▼ HES(北海道環境マネジメントシステムスタンダード)の認証を受け、目的・目標を設定して環境活動に取り組み、全スタッフの教育と委託会社等に協力を要請した。
- ▼ 環境目標「電気使用量の削減」は、次のとおり取り組んだ。  
屋内広場：季節により空調稼働時間を細かく調整し、外気と室内温度を測定しながら設定温度を調整した。屋内照明点灯はタイマー一点灯を行わず、間引き点灯を行うなど、職員による手動点灯で管理して節電に努めた。  
屋外照明施設：利用者の利用時間を随時確認し、職員が手動で照明を点灯・消灯して節電に努めた。  
その他：自動照度センサー以外の園路灯は、日没時間を細かく調整し節電に努めた。
- ▼ 環境目標「特定外来植物の侵入軽減」について、農試公園・発寒西陵公園ではオオハンゴンソウの侵入はなく日常監視を継続した。
- ▼ 環境目標「ノー残業デーの超過勤務時間」について、前年度実績を上回らないことを目標として取り組んだ。
- ▼ 「生物多様性さっぽろ活動拠点ネットワーク」の拠点施設として参加する豊平川さけ科学館とともに環境教育プログラムを実施するなど、環境保全や生物多様性保全への関心が高まるよう取組を進めた。
- ▼ 園内維持管理中に発生した剪定枝や枯損木をチップ化し、園路への敷き均しや、土壤改良用に花壇に散布するなど再利用した。また、芝生の刈込み後は刈草収集をせず、園内に還元して廃棄物が発生しない公園管理に努めた。
- ▼ 作業機械の使用頻度の調整を行い、排出ガスの軽減を図った。
- ▼ 園内にごみ箱を設置せず、来園者に持ち帰りを呼びかけた。
- ▼ 空き缶やペットボトルは自販機設置業者に回収を依頼した。
- ▼ 事務用品はグリーン購入ガイドライン指定品の購入に努めた。

#### ▽ 管理運営組織の確立(責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成)

- ▼ 統括責任者には公園実務経験が豊富な職員を配置し、また統括責任者代理のほか、ボランティアコーディネーター、作業スタッフ、受付スタッフ等を確保・配置したほか、指揮命令系統、業務分担、緊急連絡網等を整備・運用した。

また、研修計画に基づき、各種研修を通して人材育成を図るとともに研修で学んだ内容を現場に反映させることに努めた。

##### ▼ 研修計画に基づき実施した研修

・環境マネジメント研修・安全大会	4/1	16名参加
・刈払機取扱作業者安全衛生教育	4/24	1名受講
・アクセシビリティ講習	5/1	3名受講
・普通救命講習 I	6/13	3名受講
・バリアフリー講習	7/24	3名受講
・木材加工用機械作業主任者技能講習	9/4	1名受講
・西区防災実技研修	11/18	9名参加
・フォークリフト運転技能講習	12/6	1名受講
・チェーンソーによる伐木等特別教育	1/9	1名受講
・ハラスマント研修	1/11	12名受講
・テールゲートリフター特別教育	2/13	2名参加
・北海道農薬指導士認定研修	3/5	1名受講
・個人情報保護研修	3/12	3名受講

・適正に取り組まれた。

- ・スタッフへの環境教育とともに、利用プログラム等を通じて市民への普及啓発を図ることができた。
- ・植物系リサイクルを実施することにより経費節減につなげ、スタッフの意識をより高めることができた。
- ・日々のこまめな節電により経費節減とともに職員の意識をより高めることができた。
- ・具体的な環境目標に取り組む中で、SDGsなど今日的な課題を共有することができた。

・計画通りに実施されていた。

・公園を適正に管理できる人材を配置し、必要な研修を行うなど、1年を通して体制を維持して業務を遂行することができた。特に有期雇用契約者についても、公共サービスを提供するに相応しい人材を配置した。また受付スタッフは平等利用の確保とホスピタリティ向上のため、接遇研修やバリアフリー講習受講のほか、接遇資格の取得を目指した。研修等によって来園者への応対や電話による問い合わせ対応など、公園管理に役立てることができた。

・スタッフの業務分担を明確にすることにより、スタッフの自覚と相互による牽制が生まれ公園管理にフィードバックされた。

#### ▽ 管理水準の維持向上に向けた取組

- ▼ 園内の安全を確保するため、危険予知(KY)・ヒヤリハット収集票によりスタッフ全員で情報を共有し、来園者の安全や作業手順の改善に役立て、事故防止に努めた。
- ▼ 草刈り機・除雪機等の作業機械を使用する際は、研修以外にも、ミーティング時にスタッフ全員に対して注意・指導をするなど、安全確保に取り組んだ。
- ▼ OJTやOFF-JTを活用して作業教育や技能訓練、安全講習等を実獣し、管理水準の向上を図った。
- ▼ 環境マネジメント研修、安全大会、安全教育、普通救命講習、バリアフリー講習、刈払機取扱作業者安全衛生教育、安全運転副管理者講習、西区防災訓練等
- ▼ 作業機械の点検・更新をこまめに行い、作業の効率化を図った。
- ▼ 他公園で発生した事故や苦情等は、所定の報告票によりスタッフが共有して、類似事故や苦情の発生の防止に努めた。
- ▼ 屋内広場アリーナでは、月次整備と年次整備を確実に実施し、管理水準の維持向上を図った(不陸正整、耕耘、ラインテープ張替、照明点検・電球交換、空調設備点検・清掃、ガラス清掃等)。
- ▼ 今年度は猛暑で芝生の衰弱が有料施設の野球場を中心に適宜灌水を行いコンディションの回復・維持に努めた。
- ▼ 硬式テニスコートは、適宜オムニサンドを補充したほか、防球・防風ネットを設置するとともに、晚秋には落ち葉清掃を適宜実施した。
- ▼ 軟式テニスコートは、不陸を測量・整正してグリーンサンドの補充・転圧、コートラインの取替等を行ったほか、雨天後は吸水スポンジで水抜き作業を行うなど、コートコンディションの維持に努めた。
- ▼ 老朽化した交通コーナー遊具広場の遊具および木柵の補修を行った。また、スタッフの昼休憩時間を交替で行い1日を通して対応を可能とした。
- ▼ 今年度は自転車貸し出し所及びトンカチ広場の建て替え工事に伴い貸し出し事業は中止したが事前の告知により利用者の混乱はなかった。
- ▼ 施設のリニューアル以降、車での来園者が増加し駐車場不足と混雑の対応に追われた。春先は指定管理者にて交通誘導警備員を配置し、6月以降は市発注にて9月末まで継続した。今年度多目的広場はほぼ臨時駐車場として開放した。また、多目的広場は雨天時に駐車場として開放すると不陸が多く発生することから、平日にトラクターにより不陸整正を行い利用者の利便と安全に配慮したが、利用頻度の増加に伴いコンディションの回復が困難な状態となった。

- ・適正に取り組まれた。
- ・業務に必要な研修の受講等を通じてスタッフの意識が高まり、快適性と安全性に留意して管理することができた。
- ・施設のリニューアル効率的な管理と利用者の満足度向上につなげることができた。

▽ 第三者に対する委託業務等の管理(業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認)

機器の保守点検や機械警備などの特殊な専門性や資格が必要な業務等について、専門事業者(原則として札幌市内の企業・団体)に委託した。なお、暴力団をはじめ反社会的勢力への委託は行わなかった。

- ・再委託する業務は、すべて事前に札幌市の承認を得た。
- ・当協会の「工事及び委託被指名選考委員会要綱」に基づき「札幌市競争入札工事参加資格名簿」の登録事業者を準用し、透明性のある事業者選考に努めた。
- ・農試公園では、屋内広場等の機械警備、消防設備点検、運動施設照明点検、自動ドア定期点検、公衆トイレ保守、空調機械設備点検、防火設備点検、特定建築物定期調査、ばい煙測定等の専門的業務のほか、遊具等保守点検、トイレ清掃、屋内広場清掃、農試公園早朝駐車場開放、農試公園駐車場除雪等を委託した。
- ・発寒西陵公園では、遊具等保守点検、公衆トイレの保守、トイレ清掃、特記仕様書に記載のない早朝と夜間の駐車場門扉開閉業務等を委託した。
- ・業務執行の適正を確認するため、委託先から提出される業務工程表、終了・完了届、日報、報告書、点検・業務写真のほか、現地確認等を行い、マネージャーをはじめ複数の検査員により履行を確認した。

▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整(運営協議会等の開催)

▼ 運営協議会の開催状況は下表のとおり

開催回	協議・報告内容
運営協議会 2月20日 西土木センターア会議室	<p>議題】農試公園・発寒西陵公園の管理業務実施報告</p> <p>1.統括管理に関する業務の実施状況</p> <p>(1)職員配置</p> <p>(2)職員研修</p> <p>(3)意見苦情</p> <p>(4)管理水準の維持向上に向けた取組</p> <p>2.施設・設備等の管理運営に関する業務の実施状況</p> <p>(1)有料施設の管理運営</p> <p>(2)無料施設の管理運営</p> <p>(3)防犯・防災業務および災害対策業務</p> <p>3.利用促進に関する事業の実施状況</p> <p>(1)広報活動</p> <p>(2)ボランティア活動</p> <p>(3)市民協働・地域連携のための取組</p> <p>(4)自主事業への取組</p> <p>4.その他連絡・要望事項</p>

・適正に管理されていた。

・規程に基づいた透明性のある適正な事務の執行を完結した。

・委託業務仕様書等に基づき監督・検査を行った結果、委託業務の不適切な執行は認められず、すべて適正に執行されたことが確認できた。

・適正に遂行されていた。

・運営協議会を札幌市(西区土木部)と調整の結果、令和6年2月20日に開催した。

・協議会では、業務の履行確認のほか、リニューアルした施設、ツインキャップや駐車場などに関係する運用や課題、改善などについて意見交換を行い共有することができた。

・運営協議会だけでなく、日頃から所管部署と連絡を密に取るように努め、樹林管理計画の再検討、改修工事に関する情報共有、光熱水費の変動に関する管理費の増減、札幌市貸与備品に関する要望等、必要な情報共有を図ることができた。

**<協議会メンバー>**

札幌市西区土木部長、公園緑化係、公園事務係長、担当職員4名  
(公財)札幌市公園緑化協会 事業3課長  
農試公園 所長1名、主任1名

▽ 財務(資金管理、現金の適正管理)

- ▼資金管理については、指定管理業務や自主事業等、公園ごとに区分している。
- ▼当協会の規定に基づき、現金や金券類、預金通帳等の施錠管理や帳簿類の内部監査を年2回実施しているほか、公認会計士2名による外部監査を導入している。
- ▼現金等の取扱いに関しては、現金取扱規定を整備しており、管理体制の強化及び不祥事防止の取組みを行っている。

不正行為や事故発生の未然防止のため、複数名による現金等の確認を徹底した。

不正経理等はなく問題はない。

・適切に管理されていた。

▽ 要望・苦情対応

- ▼ 要望・苦情は、当協会統一の様式による報告票に記録して組織として共有するシステムを整備している。農試公園では毎朝のミーティング時に要望や苦情情報をスタッフ全員に周知した。(夜間窓口受付パートについては、昼の窓口受付引き継ぎ時に周知徹底を図った。
- ▼ 報告票はスタッフがいつでも確認できるようにミーティングルームと事務室の所定の位置に置き、閲覧した。
- ▼ 要望・苦情に対しては、速やかに応対・回答し、改善可能な内容は迅速に対応した。また、事故・事件につながる案件については直ちに札幌市に報告・共有するとともに、協議を行い改善を実施した。
- ▼ 苦情等の件数  
農試公園：苦情14  
発寒西陵公園：苦情2、その他1

・適切に対応されていた。

▽ 記録・モニタリング・報告・評価(記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施)

- ▼ 屋内広場内にご意見箱を常設するとともに、アンケートを適時実施し、公園利用者の満足度や要望等の把握に努めた。
- ▼ イベント開催時にもアンケートを実施し、イベント内容の改善や要望を反映した新規講習会開催の検討等に役立てた。
- ▼ 公式ホームページで、意見や要望について受け付け、可能な限り迅速に回答した。
- ▼ 月報、四半期報告、年度報告書その他記録書類は、集計・整理して速やかに札幌市に提出した。
- ▼ 札幌市の検査には適切に対応するとともに、依頼された調査等については期日までに確実に報告を行った。
- ▼ 意見・苦情・要望等を集計・分析し、業務改善につなげることで継続的な管理レベルの向上と利用者の利便向上に努めた。
- ▼ 自己評価の結果を公園利用者が閲覧できるよう受付前に備え置いたほか、管理運営や市民サービスの進捗状況をモニタリングした。是正が必要な場合は改善し、当公園の全スタッフに周知・反映させるよう指導を行った。

・要望や苦情以外にも、公園利用の様子などを共有することで、様々な情報や意見を共有することができた。

・個々の意見や要望に対して真摯に受け止めて、誠心誠意対応することができたと考える。

・あらためてお客様の立場で考えることにより、改善の機会と捉えて適切に対応するとともに利用満足度の向上につなげたい。

・適切に対応されていた。

・イベントなどのアンケートでは満足度が高い評価が得られ、自由記述の意見・要望については改善の材料とした。

・指定管理の計画・提案内容の履行状況を定期的にチェックすることで、目標に向けた管理運営を適正に遂行できた。

		A B C D
(2)労働関係法令遵守、雇用環境維持向上	<p>▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上(事故の有無などの安全衛生面を含む)</p> <p>▼ スタッフの雇用に関して、労働基準法、最低賃金法、労働安全衛生法、労働者災害補償保険法、健康保険法・厚生年金保険法、雇用保険法、労働契約法、男女雇用機会均等法、次世代育成支援対策推進法、女性活躍推進法、育児休業・介護休業等に関する法律、労働保険の保険料の徴収等に関する法律、その他関連する法令等に基づき、主として以下のような届出・対応等を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全てのスタッフに対し、北海道最低賃金960円(令和5年10月1日発効)以上の時給を支給した。</li> <li>・施設で働く職員に対し、時間外労働・休日労働及び深夜残業をさせた場合、それぞれ法定割合以上の割増賃金を支払った。</li> <li>・就業規則・要綱の改正を行い、札幌中央労働基準監督署に適切に届け出た。</li> <li>・全スタッフの就業時間や休日等について、労働基準法を遵守した。</li> <li>・スタッフに時間外労働又は休日労働をさせるにあたり、書面による労使協定(36協定)により必要な定めをし、札幌中央労働基準監督署に届け出た。</li> <li>・全てのスタッフを労災保険適用とし、条件を満たすスタッフを雇用保険に加入させた。</li> <li>・労働保険料等算定基礎賃金等の報告を北海道労働局へ提出し、労働保険料を納付した。</li> <li>・スタッフの勤務形態、家族状況等に応じて健康保険・年金保険資格を取得するよう、適切に届け出を行った。</li> <li>・年1回の定期健康診断及びストレスチェックを実施した。</li> <li>・短時間雇用管理者を選任し、北海道労働局へ届け出た。</li> <li>・有期雇用契約者のうち、無期転換申込権が発生した者に対して周知し、希望の申し込みを隨時受け付けた。</li> <li>・次世代法及び女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画を公開・周知した。</li> <li>・女性活躍推進法に基づく認定制度「えるぼし」において、女性の活躍推進に関する状況等が優良な団体として「認定段階3」を受けたことを周知した。</li> <li>・安全衛生委員会を設置し、毎月1回、各公園の担当課長が出席して委員会を開催し、職場の安全確保及び健康障害の防止に係る議題について検討し、その結果を各公園・施設のマネージャーを通してスタッフに周知して、健全な職場環境の実現に努めた。</li> <li>・維持管理作業従事者を対象に、作業における安全確保や機械の取扱いに関する講習を実施した。</li> <li>・ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて、育児休業等の取得奨励、職場内コミュニケーションの活性化、有給休暇取得の奨励、ノー残業デーの設定などの取組みを行った。</li> <li>・公的資格の取得支援、接遇や安全・技術等に関する内部研修の実施、優秀なスタッフや高年齢者の継続雇用など、雇用環境の整備により、市民サービスの向上等に結びつく取組みを行った。</li> <li>・第三者への委託業務について、受託者に当該業務従事者の労働環境に関わる情報提供を求めた。</li> </ul>	<p>指定管理施設の現場と本部事務局との連絡調整を密にするとともに、関係機関への必要な届出を迅速かつ確実に行うなど、労働関係法令を遵守し、すべての関係手続きについて適切に対応できた。</p> <p>当団体での労働災害発生ゼロを目指して、毎朝のKY活動、ヒヤリハット事例の共有、各公園職員を集め安全大会を開催し、安全講習の実施に取り組んだ。</p> <p>事故が発生した際には安全衛生委員会において、再発防止に向けた原因と対策について検討を実施し、安全な職場環境の実現と、スタッフの雇用環境の向上を進めるなかで、市民サービスの向上につなげることができた。</p>

	<p>▼当財団では、正規職員を新たに雇用する際、現在の非正規職員から希望者を募り、内部登用試験を実施した結果、非正規職員4名を正規職員に内定した。</p> <p>▼ 労働災害 今年度は農試公園・発寒西陵公園の維持管理作業に由来する労働災害事故はなかった。他都市、他公園での事故については随時情報共有を行い、類似のケースが発生しないようミーティングにて注意喚起をおこなった。</p>						
(3)施設・設備等の維持管理業務	<p>▽ 総括的事項(利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入)</p> <p>▼ 作業実施時は、来園者の支障にならないよう配慮して、公園利用届の共有、状況に応じた作業変更、作業実施に関する周知・案内等により、安全確保に努めた。今年度は特に園内の工事に関する情報を随時周知案内した。</p> <p>▼ 緊急時のスタッフ間の連絡手段として、デジタル無線機や携帯電話による迅速な連絡が可能な体制を取った。</p> <p>▼ 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、園内施設や貸出物品等に触れる箇所への消毒のほか、出入口への消毒液設置、人が集まる状況での換気、マスク着用・3密回避の勧行・注意喚起の掲示、ホームページ等による注意喚起を実施した。また、スタッフの体調管理に努め、マスク着用、毎朝の検温結果記載、家族内の健康状態の確認、昼休憩時間の変更等を実施した。</p> <p>▼ 車両を運転する職員を対象にアルコールチェックによる酒気帯び状態をチェックし飲酒運転防止に努めた。</p> <p>▼ 全スタッフを対象として安全教育を行い事故防止に努めた。</p> <p>▼ 普通救命講習受講等により緊急事態時に即応可能な人材育成と体制を構築した。</p> <p>▼ 作業機械による事故防止のため、常に適切な点検・整備を実施した。</p> <p>▼ ハザードマップの作成・公開や、ヒヤリハット事例を収集するなど、事故の未然防止に努めた。</p> <p>▼ 全スタッフと委託業者に対して、緊急時に迅速な対応がとれるよう緊急連絡網を整備・共有し、自転車貸出所、ミーティングルーム、管理事務所内に掲示した。</p> <p>▼ 夏の気温上昇に伴い猛暑を理由とした有料施設のキャンセルに対応した。</p> <p>▼ 資格が必要な作業等は、有資格者による作業実施を徹底した。</p> <p>▼ 適宜、利用指導を行い、不正利用・違法行為の排除に努めた。</p> <p>▼ 暴力団活動や暴力団の資金源となる活動に公園を使用できない旨の文書を園内各所に掲示した。</p> <p>▼ 緊急連絡網を札幌市に提出し、情報の共有を図った。</p> <p>▼ 拾得物は、法に基づいた当協会の対応マニュアルのとおり適正に取り扱った。</p> <p>▼ 指定管理期間中の管理業務実施にあたり、当協会の過失又は故意により札幌市や第三者等に損害を与えた場合に備えて、仕様に適合した損害賠償責任保険に加入した。</p>	<p>令和5年度は施設のリニューアルに伴い利用者が急増し、駐車場をはじめ対応に苦慮したが改善を進め大きな事故なく運営することができた。</p> <p>・利用者の安全対策に留意して、事故等の防止にスタッフ全員の意識を共有して管理にあたることができた。</p>	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td></tr> </table> <p>・適切に対応されていた。</p>	A	B	C	D
A	B	C	D				

▽ 施設・設備等の維持管理(清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等)

施設・設備管理面では、常に適切かつ清潔な状態に維持管理・調整し、安全・安心かつ快適に利用できるよう努めた。

緑地管理では、3月の雪解けが進み例年よりも早く開園準備を進めることができた。半面、オープン前に新しい遊具広場の使用が散見されたので点検を早めて安全を確保した。緑地管理は施肥、芝刈りなど適切な管理を行ったことで以下のとおり計画どおり管理作業を実施することができた。今年度は強風による風倒木が少なく西陵公園で1本確認されたのみであった。ただし今後に備え枯損木、危険枝の剪定は順次進めた。

▼ 園内清掃は巡視時に行うなど、適宜、効率的な実施に努めたほか、屋内広場館内についても美観と清潔を心がけた。また、屋外の公衆トイレについても仕様どおり清掃を実施した。

▼ 遊具は毎日の巡回時の目視等点検、週1回の直営による点検のほか、専門業者による精密点検を年2回実施し、経年劣化等による危険の早期発見と補修等により安全確保に努めた。

▼ 公園施設や作業機械等は必要に応じて修繕を行い、安全で快適な利用と使用に供するよう努めた。

▼ ちゃんちゃん広場は毎朝巡視清掃と行った他土日祝の混雑時は監視スタッフを常駐し利用案内と安全確保に努めるとともに水質管理を自動計測による塩素消毒を24時間実施した他、目視による汚濁状況を確認し毎日一定量の水の入れ替えを行い水質の維持に努めた。

▼ 屋内広場は機械警備により施設の保全を図ったほか、駐車場満車時にはスタッフが随時誘導警備にあたった。

▼ 法定点検や検査の必要な自動ドア、空調、消防や防火設備、電気設備、ばい煙発生施設、特定建築物定期調査等は、専門業者により検査を実施した。

▼ 照明、空調等の各種設備や作業機械等は、日常点検や定期点検のほか、作業前点検等により不具合の早期発見や抑制、安全確保に努めた。

▼ フォークリフト・ホイールローダーは特定自主検査を実施し、各車両について法定点検を実施した。

▼ 備品は、台帳を整備して適正に管理した。

▼ 駐車場は土日祝日を中心に多目的広場を臨時駐車場として開放し、併せて出入口の交通誘導を行った。平日はグラウンド整備や駐車スペースの白線引きは測量士資格を有した作業スタッフが実施した。

▼ 交通コーナーは管理棟建て替えのため無料自転車貸し出しは実施しなかったがコースは開放しているため毎朝点検清掃を行い安全の確保に務めた。

▼ 交通コーナーのSL機関車の保護のため秋にシートを被せて養生した。

▼ 公園外周を中心に枯損枝、枯損木処理行うなど良好な景観形成と植物の健全な生育管理に努めた。

▼ 前大雪前に施設の雪下ろし、除雪を行い積雪による施設の被害を予防した。

▼ R6年度のツインキャップの工事休館に伴い事務所及びスタッフ休憩所機能を仮設事務所に移設した。

・適切に対応されていた。

・施設や設備等の維持管理については、計画どおり美観と衛生、快適性の保持に努めることができた。

	<p>▽ 防災</p> <p>予防・未然防止対策等を含む防災計画を策定し、公園利用者と地域住民の安心・安全を確保するよう努めた。</p> <p>▼ 年度当初に全スタッフを対象として、消火器・消火栓の取扱、AED設置箇所の確認、緊急連絡網、自衛消防隊の役割分担等について研修を実施した。</p> <p>▼ 屋内広場からの出火を想定し、消火器の取扱、放水、避難誘導等の消防訓練を実施した。</p> <p>▼ 西区役所共催で地域住民を対象とした「防災実技研修」を屋内アリーナで開催した。</p> <p>▼ 防災を考えるイベント「冬のまちにスノーキャンドルの灯りをともそう！2024」を市民参加の形で開催した。</p> <p>▼ スタッフの普通救命応急救手当講習受講に努めた。</p> <p>▼ 全スタッフを対象として、台風や強風、火災、地震、河川増水時の対応手順について学び、共有した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防訓練や教育について、計画どおり実施することができ、スタッフの防災意識を高めることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適切に実施されていた。</li> </ul>				
(4)事業の計画・実施業務	<p>▽ 各種体験・学習機会の提供業務</p> <p>公園の利活用促進と緑化の普及啓発を図ることなどを目的として、次の取組を計画・実施した。</p> <p>▼ 体験イベント、体験型講習会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初めての自転車教室 4回 34人参加(計画20人)</li> <li>・忍者になって修行だ 雨天中止 (計画10人)</li> <li>・のうしみニ夏まつり 2日 約500人参加(計画500人)</li> <li>・凧づくり 2回 37人参加(計画40人)</li> <li>・新春凧づくり 2回 29人参加(計画40人)</li> <li>・のうしみニ秋まつり 2日 850人(計画500人)</li> <li>・門松づくり 1回 10人参加(計画20人)</li> <li>・冬のまちにスノーキャンドルの灯をともそう2024 自由参加</li> <li>・わいわいタイヤチューブ 2,481人参加</li> </ul> <p>▼ 園芸講習会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コキアのほうきづくり 1回 9人参加(計画10人)</li> <li>・クリスマスリースづくり 2回 18人参加 (計画40人)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度はコロナに関するイベントの中止ではなく、いずれの事業も基本的な感染症対策を徹底して実施することができた。</li> <li>・事業の立案や実施を通して職員間の連携や意思疎通が深まった。</li> <li>・自転車教室は、市民からの要望を受けて追加開催するなど、利用促進と満足度の向上のため対応することができた。</li> <li>・地域住民を対象としたお祭りイベントは工事によるエリアの制限、コロナの感染拡大防止を考慮して規模を縮小して開催した。</li> <li>・農試公園の特徴を活かして、花と緑、自然、運動、健康づくりなど、幅広いテーマで事業を実施することができた。</li> <li>・幅広い世代の参加を得ることができた。</li> </ul>	<table border="1"> <tr> <td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td></tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症対策を講じつつ、工事によるエリアの制限なども考慮し、利用者ニーズを踏まえた講習会等を適正に実施されていた。</li> </ul>	A	B	C	D
A	B	C	D				

▼ スポーツ教室	
・のうしかけっこスクール	31回延べ518人参加
・のうしサッカースクール	35回延べ983人参加
・ノルディックウォーキング講習会	8回38人参加(計画30人)
・NWお散歩ツアー	2回8人参加(計画20人)
・歩くスキー講習会	2回14人参加(計画20人)

▽ 公園における市民の自主活動及び交流の支援業務

【市民ボランティアとの連携】

- ▼ 植物管理ボランティア「カポック」との協働で、屋内広場サンルーム内観葉植物の管理、園内花壇デザインや花苗の選定・植込み、除草、花がら摘み、灌水等の活動を支援するとともに、連携して植物管理を行った。  
支援内容:花苗、肥料、土壤改良材、鉢等の資材・用具の購入、貸出しなど。
- ・屋外ゲートボールコート・多目的広場で活動している西区ゲートボール協会及び札幌ペタンク協会に対して、コート維持活動(除草・石拾い等)に使用する用具類を貸し出した。

【地域との連携・協力】

- ▼ 「八軒まちづくり協議会」 全体会議 R5.5.25 1名参加
- ▼ 「交通安全子供自転車北海道大会」 R5.7.16
- ▼ 「第49回西区民みんなで楽しむマラソン大会」(西区地域振興課主催)
- ▼ 「防災実技研修」(西区主催 対象:西区連合町内会)  
農試公園屋内広場で開催
- ▼ 企業奉仕活動(遊具広場清掃)近隣企業参加
- 【教育機関との連携】
- ▼八軒西小学校生徒の総合学習の一環として協力した。
  - ・プランターへのマリーゴールドの植栽(園内配置)
  - ・次年度春花壇用にチューリップ球根の植え込み。

・適切に実施されていた。

・ボランティア活動を積極的にサポートすることができ、園内の修景や植物管理に活躍していただくことができた。

・登録ボランティアや関係機関、地域との連携・協力を進める中で、相互の信頼関係を築くことができた。

・地域の団体等からの協力依頼や連携行事に対しては、今後も可能な限り協力していきたい。



▽ 利用促進の取組

公園の利用促進を図るため、施設コンディションの維持・向上、施設利用に関する情報発信、利用期間や時間の延長など、利用者の利便を高めるように努めた。

▼ 屋外有料施設の開放時間等を札幌市と協議して変更した。

利用時間及び夜間照明点灯時間の変更内容

・農試公園テニスコート夜間照明点灯開始時刻

4/20-4/28 午後6時(30分早く点灯)

・農試公園硬式及び軟式テニスコート利用時間

4/20-5/15 午前5時～午後8時(2時間延長)

・発寒西陵公園硬式テニスコート利用時間

7/12- 8/27 午前5時～午後7時(2時間延長)

10/1-11/3 午前6時～午後5時(1時間延長)

11/4-11/20 午前6時～午後4時(1時間延長)

▼ 施設の故障等有料運動施設が利用不可となった際は、予約者に迅速に連絡を行った。また、猛暑を理由とするキャンセルについても柔軟に還付対応とした。

▼ 自主事業として、テニスラケット、テニスボール、サッカーボール、野球のグローブ・ボール、バトミントンラケット等のスポーツ用品の貸出しを行った。

・適切に対応されていた。

・今年度は記録的猛暑により、高温を理由とした利用キャンセルに柔軟に対応した。

		A	B	C	D
(6)付随業務	<p>▽ 広報業務</p> <p>▼ 公園施設でのイベント情報、開花情報、駐車場混雑情報など各種お知らせを迅速かつ正確に利用者へ伝えることを目的として広報を行い、施設のPRに努めた。</p> <p>▼ インターネットを効果的に活用し、リアルタイムな情報発信に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公式ホームページ アクセス数(ページビュー数)は38.9万件となり、前年度比約191%の閲覧数となった。</li> <li>・メールフォームの活用 公式ホームページ内のメールフォームから来る問合せに即時に対応した。</li> <li>・札幌市イベントカレンダーへの掲載 札幌市イベントカレンダー情報掲載に協力し、広報活動の方法を増やした。</li> <li>▼ 公園ホームページについてのウェブアクセシビリティ研修を担当職員対象に実施した。また取組確認・評価表を、令和6年3月29日に公開した。</li> </ul> <p>▼ プレスリリースの活用 施設のオープン情報や開花情報イベント情報等の告知を発信するためプレスリリースを行い、媒体に取り上げていただく機会を増やした。</p> <p>▼ チラシの配布再開 新施設のオープン情報や工事のお知らせイベント情報のチラシ配布を近隣教育機関やまちづくりセンターへ行った。</p> <p>▽ 引継ぎ業務 前回から継続指定を受けており、引継ぎ業務はない。</p>	今年度はリニューアル効果で施設の営業情報、開花状況、イベント等に関する問い合わせが多く、公式ホームページでの情報発信をこまめに継続したことが功を奏し、閲覧数の大幅な増加につながったと考える。	メールフォームでの質問等に迅速に対応し、公園利用時の不安を取り除き、安心して来園できるよう取り組んだ。	アンケートによる集計では公園の情報をホームページ(44%)や知人からの口コミ(18%)から得た割合が多くなっていた。	情報提供等適正・柔軟に実施されていた。

## 2 自主事業その他

### ▽ 自主事業

#### 【物販】

- ・売店収入(自然素材リース、おもちゃ等の販売)  
214,550円
- ・臨時売店(ちやぶちやぶ広場でのおもちゃ販売)  
1,259,500円

#### 【貸し出し】

- ・歩くスキー用具貸出 476人  
142,500円
- ・ソリ貸出 213人  
42,600円
- ・スポーツ用品貸出 78人  
27,950円
- ・テント貸出 0人  
0円

#### 【イベント・講習会】

- ・はじめての自転車教室  
32,000円
- ・凧づくり・凧あげ講習会  
66,000円
- ・のうしミニ夏まつり  
204,800円
- ・のうしミニ秋まつり  
339,600円
- ・コキアの篭づくり講習会  
9,000円
- ・クリスマスリースづくり  
36,000円
- ・門松づくり  
25,000円
- ・歩くスキー講習会  
30,000円
- ・わいわいタイヤチューブ運行  
1,017,800円
- ・のうしかけっこスクール  
614,000円
- ・のうしサッカースクール  
1,151,000円
- ・ノルデックウォーキング講習会  
無料

A B C D

・各種事業の取り組みが良好に行われていた。

・令和5年度は施設のリニューアルに伴い多くの来園者が訪れ駐車場や利用対応に追われたため各イベントは効率を図って開催した。

・リニューアルした水遊び場に案内・監視所を設け、併せて水遊び用おもちゃの販売を行い好調であった。

・例年人気の高い「はじめて自転車教室」は春先の人手不足のため中止も検討したが市民のニーズが多くたため開催数を減らしつつも実施した。

・児童や保護者から人気の「サッカースクール」「かけっこスクール」を通年開催し、施設の利用活性化とともに満足度向上を図ることができ。・冬のアクティビティとして歩くスキーとソリの貸出しを行い好評を博した。

・わいわいタイヤチューブは、利用者数は安定して前年度とほぼ同じであったが参加料金を値上げしたことにより売り上げが初の100万円を超えた。変更したことにより利便性と安全性が向上し、安定した収入を得ることができた。

・市内業者を利用し、適正に実施されていた。

### ▽ 市内企業等の活用、福祉施策への配慮等

- ▼ 第三者に対する委託業務については、すべて札幌市内の業者に発注した。
- ▼ 消耗品・原材料等の物品についても、札幌市内の業者から購入した。

### 3 利用者の満足度

▽ 利用者アンケートの結果		A	B	C	D
実施方法	公園利用者・運動施設利用者・イベント参加者に対してアンケートを実施した(サンプル数164件)。				
結果概要	<p>総合的な満足度は、目標値75%（要求水準70%）に対して97.6%と上回った。</p> <p>スタッフの接遇に対する満足度は、目標値85%（要求水準80%）に対して97.6%</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年度は総合・接遇満足度ともに目標値及び札幌市要求水準をともに上回った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケートの記述等による利用者からの意見、要望に対しても、可能な範囲で即時対応に努め、利用者が安心・安全・快適に利用できる環境の確保に努めた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合的な満足度及び接遇に関する満足度が要求水準を大幅に上回ったことを評価する。引き続き利用者の意見や要望を参照し、より良い維持管理に努めること。</li> </ul>	
利用者からの意見・要望との対応	<p>農試公園アンケートの自由記述（一部）</p> <p>【良かった】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもが楽しく遊べる。</li> <li>花壇がとてもきれい。</li> <li>スタッフの人がどんなことも親切に対応している。</li> <li>いろいろな施設があり、遊び勝手がよい。</li> <li>いろいろなイベントや遊び場がある。</li> <li>遊具が素晴らしかった。</li> <li>ちゃぶちやぶ広場が楽しかった。</li> <li>充実した施設。</li> </ul> <p>【悪かった】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>臨時駐車場が雨が降るとドロドロで汚い。</li> <li>女性用トイレが不足。</li> <li>野球利用者の喫煙が嫌だ。</li> <li>犬のマナーが悪い。</li> <li>改修工事に伴って木が切られて残念。</li> <li>混んでいて遊具で遊べなかった。</li> <li>駐車場がすぐに満車になる。</li> </ul> <p>【イベント】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>講習がとてもわかりやすくて良かった。</li> <li>スタッフの方々が優しくて楽しく作されました（イベント）。</li> <li>はじめての自転車教室のプログラムがとても良く、教え方も丁寧で参加できて良かったです。</li> <li>おかげさまで自転車に乗れるようになりました。有難うございます。</li> <li>職員の方の対応がていねいで気持ちよかったです。</li> </ul> <p>▼アンケートで寄せられた要望等への対応について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>内容を精査し対応可能なものは実施・改善を行った。</li> <li>駐車場は適宜整備を行った。</li> </ul>				

#### 4 収支状況

△ 収支				A B C D
項目	R5年度計画	R5年度決算	差(決算-計画)	
収入	102,837	111,706	8,869	光熱水費の単価上昇に対して、直営作業にて管理経費の節約を行い、適切かつ効率的な維持管理を行ったことを評価する。
指定管理業務収入	97,927	99,398	1,471	
指定管理費	92,352	82,936	▲ 9,416	
利用料金	5,575	16,462	10,887	
その他			0	
自主事業収入	4,910	12,308	7,398	
支出	102,559	107,176	4,617	
指定管理業務支出	100,286	101,702	1,416	
自主事業支出	2,273	5,474	3,201	
収入-支出	278	4,530	4,252	
利益還元	0	0	0	
法人税等	278	373	95	
純利益	0	4,157	4,157	
△ 説明	<p>▼ 指定管理費収入について、「札幌市都市公園の維持管理に関する協定書の改定協定書(第2回)」、「札幌市都市公園の維持管理に関する協定における費用見直し等に関する確認書(電気料金等)」により9,416千円の減となった。</p> <p>▼ 利用料金収入は、ツインキャップの改修工事が令和6年度に実施されることとなり、令和5年度は通常通りの施設利用があつたため、計画より10,887千円の増となった。</p> <p>▼ 自主事業収入は、施設リニューアル効果で手数料収入や売店収入が増加し、札幌市西区保健センター健康子ども課から受託したノルディックウォーキングポールの貸出業務により、計画より7,398千円の増となった。</p> <p>▼ 指定管理業務支出は、委託費用の増加などで1,416千円の増となった。</p> <p>▼ 自主事業支出は、売店仕入れ費及び事務局経費等の増額で、計画より3,201千円の増となった。</p> <p>▼ 利益還元については、公益法人の特質上、協会全体として収益の約半分を公益事業に繰り入れている。</p>			

<確認項目> ※評価項目ではありません。

△ 安定経営能力の維持		適	不適
▼ 札幌市公園緑化協会の財務状況等は、令和5年度、赤字決算となり、運営安定化積立資産も取り崩すこととなった。次年度以降、なお一層の経費節減が求められるものの、自主事業の好調を引き続き継続し、経営能力の安定化を図っていく。また、他の構成企業についても、前年度から大きな変化はなく、安定経営能力に問題はない。			
△ 個人情報保護条例、情報公開条例、行政手続条例、オンブズマン条例及び暴力団の排除の推進に関する条例への対応		適	不適
▼ 各条例の規定に則り、全て適切に対応した。 <p>▼ 公園に関する情報公開請求及びオンブズマンの実地調査はなかった。</p> <p>▼ 公園は暴力団活動や暴力団の資金源となる活動のためには使用できない旨の告知を園内に掲示した。</p> <p>▼ 協定に関する契約(第三者への委託、物品調達等)について、暴力団員や暴力団関係事業者を相手に契約を行わなかった。</p>			

### III 総合評価

【指定管理者の自己評価】	
総合評価	来年度以降の重点取組事項
<p><b>【統括管理業務】</b></p> <p>令和5年度は遊具施設と水遊び場がリニューアルオープンとなり、4月から多くの来園者で賑わった。同時に急増した利用に対し駐車場など混乱が生じたが札幌市や委託業者と連携して対応し大きな事故なく管理することができた。</p> <p>今年度は新型コロナウイルスを要因とした施設の休止、イベントの中止ではなく、計画した企画を実施することができた。農試公園は身近なオープンスペースとしてその価値と需要がますます高まっており、安全で快適な公園利用のため、あらためてコンプライアンスと平等利用の確保を徹底しつつ、新しい日常に対応したにぎわいづくりの提案と実施に努めた。</p> <p>維持管理面では、令和5年度は融雪が早く、運動施設の準備を例年よりも早く進めることができた。</p> <p>本年オープンした遊戯広場どちらかぱく広場周辺は平日でも利用が多くエリア全体を閉鎖しての清掃・整備は行えなかつたが、分割して作業を行い対応した。</p> <p>植物管理においては歴史的な猛暑により6、7月は低木及び芝生の衰弱が見られたが野球場の芝生を中心に灌水を行い維持に努めた。だが近年改修工事で張り替えた芝生は根の成長が十分でないため衰弱が激しく、今後の利用状況によっては踏圧マットなどの対策が必要と思われる。夏以降は天候も回復し全体として計画どおり管理作業を実施することができた。今年度は強風による風倒木の被害が西陵公園の一本のみと少なかった。冬季は早めの除雪と施設の雪下ろしを行い、大雪による影響を最小限にとどめた。</p> <p>管理運営面では、増加した利用者に対し公園施設の適正利用と利用プログラムの実施に努めた。令和5年度は施設の改修工事に伴い自転車貸し出し所とトンカチ広場の運営は中止したが、遊戯広場どちらかぱく広場、駐車場の交通誘導などに人工を割り振り対応した。</p> <p>講習会等では、人気のあるコンテンツに人的労力を集中するなど、安定を重視した運営を行った。また、農試公園では、健康づくりとスポーツを楽しむことができる運動公園としての役割とともに、幼児や児童を連れた家族利用が多いという特徴を捉えた利用プログラムの実施により、満足度の高い公園運営と公園の価値向上に努めた。有料施設の利活用では、一般的なスポーツ利用のほか、幼稚園や保育園の運動会を誘致するなど、多様な持込みイベントの実施に対して柔軟に対応・協力した。また、野球場やテニスコートについても、コンディションの維持・向上に努めるなどして利用促進を図った。また無料施設についても、利用者同士の適正間隔の確保や消毒など、基本的感染対策に留意して利用促進を図った。広報活動では、公式ホームページ、チラシ、掲示板、情報紙などを活用して美しい草花や樹木、自然環境など、公園の基本情報を提供するとともに、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の徹底と協力を呼びかけた。市民参加・協働では、ボランティア活動の支援、地域や関係機関との連携等に努めるなど、開かれた公園管理の推進に取り組んだ。</p>	<p>引き続きコンプライアンスの徹底と平等利用の確保とともに、安全・安心で快適な利用に留意する。</p> <p>特に施設のリニューアルと新型コロナの第五類への以降に伴い急増した公園利用に関し、札幌市と協議して公園を管理する。</p> <p>農試公園の改修工事に伴い、札幌市との協議を密に行って、施設の現状や利用のあり方など、現指定管理者としての考え方を的確に伝えて、新しい農試公園の誕生に寄与していきたい。</p> <p>公式ホームページでは、公園の改修工事にともなう変更を適宜お知らせし、公園への理解と工事中の安全喚起、新しい施設への関心を高めていく。</p> <p>また、ホームページ上でボランティア活動の取組みについて見出しがつけて紹介し、定期的に発信する。これにより、ボランティアの方々の励みと活動の記録、活動の輪の拡大とともに、開かれた公園づくりをさらに進めたい。</p> <p>維持管理面では、園内各所の点検・整備、施設の老朽化や園路の不陸整正、樹木の剪定などを適切に進め、計画に基づく執行と柔軟な対応に努める。</p> <p>管理運営面では、効果的な広報活動や魅力ある自主事業の実施などにより一層の利用促進を図る。また、引き続きボランティア活動の支援を行い、活動が公園の魅力と価値を高め、充実したものになるよう関係を強化することに留意する。</p>

公園を管理する組織体制と人員配置では、経験豊かで優秀なスタッフの配置を進め、新規スタッフの採用についても公募により優秀な人材の確保に努めた。また、公園管理に必要な資格取得の推進や各種研修を実施した。特に年度当初には安全衛生、基本的な作業機械類の取扱研修や訓練などを積み重ねて総合的な危機対応力を高め、事故発生の未然防止に取り組むなど、人材育成とガバナンスの強化を図った。

【所管局の評価】	
総合評価	改善指導・指示事項
利用者アンケートについて、総合的な満足度に加えスタッフの接遇も要求水準よりも大幅に上回っていることを評価いたします。今後とも適切な維持管理、安定経営に努めてください。また、自主的な点検・修繕等、引き続き公園の魅力発信、利用者サービスの向上に努めてください。	上記に記載した所管局評価を参照してください。